

平成25年8月7日
日本原子力発電株式会社

敦賀発電所敷地内破砕帯調査に関する外部レビュー結果への対応について

当社は、本年6月末までに行った敦賀発電所敷地内破砕帯に係る調査結果を取りまとめ、7月11日に原子力規制委員会へ提出し、当社ホームページで公開しました。当社は、この報告書を国内外の2つの専門家グループに提示し、科学的・専門的な視点でレビューをして頂きました。専門家グループは、7月29日の現地調査、その後2日間の合同レビュー委員会での議論を経て、8月1日にレビュー結果の概要を報告しました。その概要は、当社ホームページに掲載しています。

専門家グループによるレビューでは、従来から当社が主張してきた「D-1 破砕帯は活断層ではない」ことを強く支持するとともに、6月末までに得られた調査結果は、その結論を補強する新たな知見を含んでいるとの評価を頂きました。また、専門家グループからは、当社が行った調査結果を独自の視点で分析し、分析方法や取りまとめ方について幾つかのアドバイスを頂きました。今後これらを反映して、当社の論拠を更に強固にしていく考えです。

なお、専門家グループからは、原子力発電所の耐震安全について、最新のデータや手法を用いて継続的に改善・更新することを推奨されました。国際的な IAEA 安全基準において要求されている確率論的な安全評価なども、我が国の規制に導入していくべきであるということも併せて推奨されています。今後、関係機関と連携して、本件について検討を進めていきたいと考えています。

以 上